

高雄だより 臨時号

学校評価（前期） 結果と分析

平成30年10月1日
京都市立高雄小学校
校長 坪内 昌子

昨年度の学校評価の項目を整理し、できるだけ、児童・保護者・教職員の実現度を比較し関連づけられるよう試みました。

【確かな学力について】

高雄小学校では、学力向上を図ることを今年度の大きな柱におき取組を進めています。朝の学習やタイムでの基礎基本の定着を図る時間を確保し、繰り返し学習することで、習得率が高まる計算や漢字学習などを中心に実施しています。

【質問①】は、学校での授業について ~わかる・できる授業~

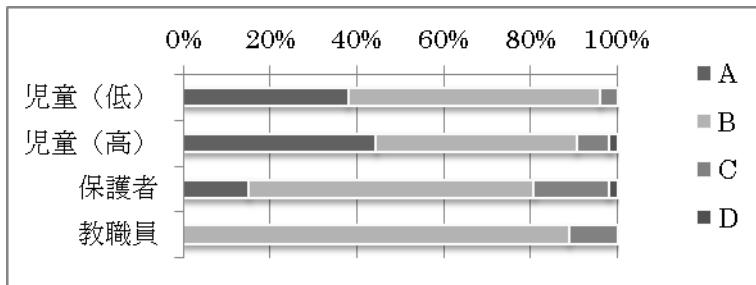
低学年…わたしは、べんきょうしていることがよくわかっています。

高学年…わたしは、学校の授業がよくわかっています。

保護者…わが子は、学校での学習内容がわかっている。

教職員…子どもたちが見通しを持って学習できるよう、教材研究を心がけている。

低学年で約96%，高学年で約90%の子どもが、授業がわかっていると答えています。一方で高学年になるほど学習内容がだんだん難しくなってきて、わからないと感じる子どももみられます。（低学年4%，高学年9.3%）わからない問題に出会ったとき、すぐに「わからない。」とあきらめてしまうのではなく、自分なりに粘り強く



考え、解決できる力を身につけてほしいと思います。そのためにも、学校全体で授業改善の視点から校内研修・研究協議を充実させ、子どもが主体的に学ぶ授業を進めていくことで、「勉強が楽しい」「最後まであきらめなかつたらわかった」と実感できる授業を目指していきたいと考えています。

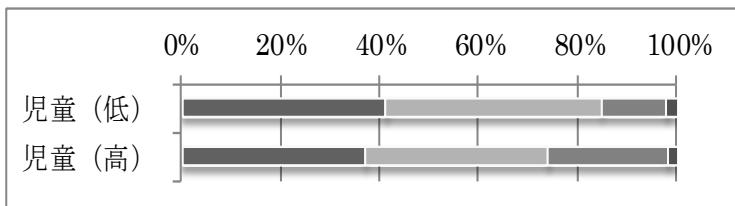
また、授業の学習内容と家庭学習とを連動させて、より確かな学力の定着を図る取組も大切になってきます。毎日の家庭学習により、主体的な学びにつながる自学自習の習慣化を図ることをめざし、今後も子どもたちに、声をかけていきたいと思います。

【質問③】は自分の考えを話すことについて ~合意形成と意思決定~

低学年…わたしは、せんせいやともだちに、じぶんのかんがえをはっきりはなしています。

高学年…わたしは、先生や友だちに、自分の考えをはっきり伝えています。

今年度から本校は特別活動の研究に力を入れています。テーマは「主体的・協働的な学びの構築・学びに向かう学習集団の形成」です。その中で、特に大切にしている力は、合意形成力と意思決定力の育成です。



学級活動の話し合い活動において、学級や学校におけるより良い生活づくりへの積極的な参画をめざし、子どもたちが自ら問題を発見し、その解決方法について話し合い、折り合いをつけて、集団として合意形成を図ることをねらいとしています。

そのようなねらいのもとに、特別活動の時間を中心に学習を進めてきて、できている以上の回答をした児童は低学年で約84%，高学年で約74%（H29後期データ 低学年約72%，高学年約69%）という結果となっています。

今後も主体的・対話的に問題解決を図る学習を進めていく中で、確かな学力の定着を図っていきます。

【豊かな心について】

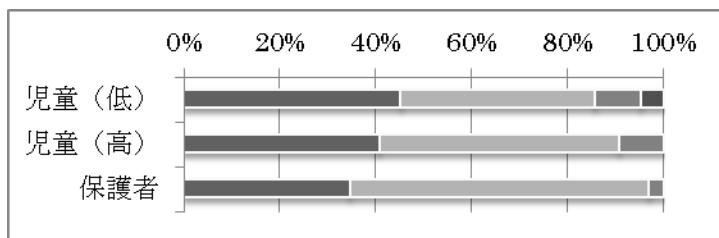
【質問③】学校で仲良く過ごせているかについて ~自尊感情を育む~

低学年…わたしは、だれとでもいつも なかよく すごして います。

高学年…わたしは、だれとでも、いつも仲良くすごしています。

保護者…わが子は、学級の友達と仲良く過ごしている。

「学校で仲良く過ごせているか」について
では、低学年は約85%，高学年では約90%以上ができていると回答する一方で、
そう思わないを感じている子どもも少なく
ありませんでした。また、「わが子は、楽しく学校に通っている」と回答している家庭
が約95%でした。



学校でも、学習や学級活動、たてわり活動などを通して、一人一人が周りから認められ、自分は大切にされていると感じるだけではなく、自分自身が大切な存在であるという自己有用感を抱けるよう育んでいます。「自分を大切にできない人は、周りの人を大切にすることが難しい」と言われますが、まずは、自分自身を大切にすること。そして、そのあとに自分の周りにいる人たちとどのように仲良く過ごしていくかをこれからも学んでいってほしいと願っています。また、低学年では約15%，高学年では約10%の子どもたちが仲良くすごせていないと感じています。すべての子どもが相手のよさを見付けようと努め、互いに協力し合い、時には互いに指摘をし合うなど、仲間を大切にする取組を進めています。その中で、自尊感情を高め、自分の力を学級全体の為に役立てようとする風土を作り上げる学級経営を、特別活動を中心に今後も進めていきたいと考えています。

【質問③】思いやりの心などについて ~共に生きるということ~

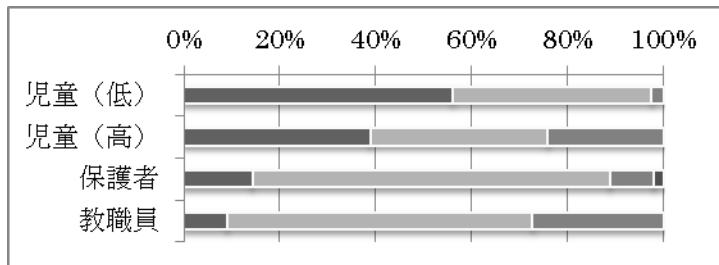
低学年…わたしは、ともだちが こまっていたら やさしく こえをかけています。

高学年…わたしは、友だちが困っていたら、やさしく声をかけています。

保護者…学校は、思いやりの心・考える力・たくましい子を育てている。

教職員…子どもたちには、思いやりの
ある言動が見られる。

思いやりの心については、高学年で、できていないを感じている子どもが約20%近くいるという結果になりました。あいさつや言葉づかいの項目でも同じような結果でした。クラス替えのない中、多くを言わなくとも、また丁寧に言わなくても伝わるという気持ちから、短い言葉でポンポンと話してしまうこともあるためと考えられます。少ない人数であるからこそ、あたたかい言葉かけができる関係を築けたらと思います。



全ての教育活動の中で、共によりよく生きるために、お互いの生き方や価値観の違いを認め合い、そのよさを伸ばしつつ、共通して守るべきものはしっかりと身に付けていく教育の実践を進めています。取分け、毎月実施している「ともだちの日」の取組では、すべての子どもが様々な特性についての理解と認識を深め、互いを尊重し共に成長し合う教育を推進しています。そんな中、少しずつ「そのくらい大丈夫かな?」「いつものことやし・・・。」と周りの人が困っていても、見て見ぬふりをしてしまっていることはないでしょうか?高学年だからこそ、やさしくそっと手を差し伸べることができる姿を常に意識し生活していくことで、これまでよりもお互いに気持ちよく学校生活を送ることができるものと考えます。

また、できていないと回答されている保護者の方が約10%ありました。これは、学校の取組が不十分だと感じておられる証拠だと思います。「一人一人を徹底的に大切にする。」という教育の根本をもう一度教職員一同再確認し、日々の取組に生かしていきたいと思います。

【健やかな体について】

【質問①】基本的生活習慣にかかわることについて ~睡眠時間減少の低年齢化~

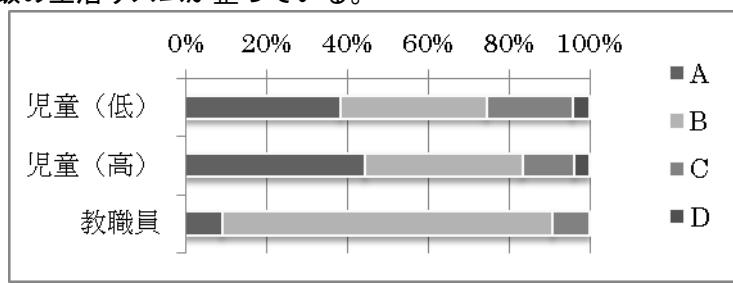
低学年…わたしは、はやね・はや起きをして、あさごはんをたべています。

高学年…わたしは、早ね早起きをして、朝ごはんを食べています。

教職員…子どもは、早寝・早起き・朝ご飯の生活リズムが整っている。

「早寝・早起き・朝ご飯」の項目について
は、高学年が約80%の子どもができる
一方で、低学年が約74%と例年の低・
高の傾向を逆転してしまっています。つい
夜遅くまでテレビをみたりスマートフォン
をさわったりしている子が高学年に多かつ
たのですが、それが低年齢化してきている

のではないでしょうか。そのために、翌朝起きる時間が遅くなり、朝ごはんを食べる時間を削らなくては
ならなくなっている子も増えてきているのかもしれません。また、各家庭によって、子どもの習いごとや
お仕事の都合で夕食が遅くなるなど、生活の仕方が多様化しているのも原因の一つではないかと思います。
睡眠時間は、心身ともに健やかに成長するために欠かせないものです。また翌日の学校生活に大きく影響
してきます。小学生では、9時間～11時間の睡眠が必要とされています。高学年になるにつれて、自主性
に任せて、つい就寝時刻までは管理しなくなりがちですが、可能な限りきちんと家庭で話し合って、就寝
時刻になったら布団に入るようにし、十分な睡眠をとて翌日を元気に過ごせるように、今一度生活リズム
を見直していきたいものです。



他に「安全面」についても尋ねています。子どもたちは、安全に気を付けて行動することを意識して
いました。保護者の皆様からは、「学校が適切な安全対策をとっているか」という項目について、約10%
の方が「できていない」とされています。お子たちの「命を守りきる」という点から学校ではより一層の
努力をしていきたいと思っております。設備面だけではなく、小さな学校なればこそその利点を生かし、よ
い人間関係の中、互いに無関心ではなく、声を掛け合い、危険回避できるような学校を目指したいと思
います。

【学校と家庭・地域との連携について】

【質問②】地域との連携について～持続可能な開発のための教育～

低学年…わたしは、ちいきのぎょうじに
すすんでさんかしています。

高学年…わたしは、地域の行事にすすんで
参加しています。

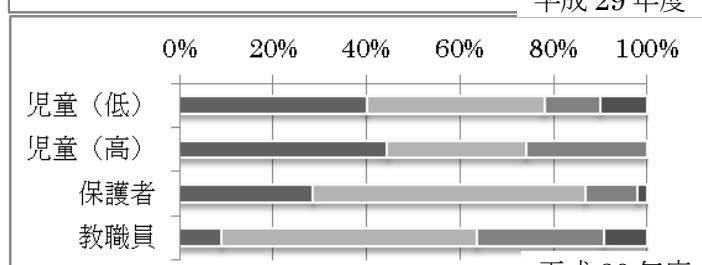
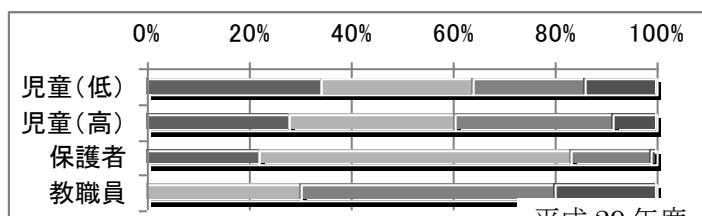
保護者…学校行事や参観日、地域行事には、
よく参加している。

教職員…地域行事には、積極的に参加して
いる。

地域との連携については、低学年で約90%の
子どもたちが「参加している。」と答えています。

高学年の参加していると答えた割合が約75%と
なりました（前年約60%）。地域の行事に積極的

に参加し、地域のつながりをより深めるだけでなく、昨年度から、ESD（持続可能な開発のための教育）に
関する研究を生活科や総合的な学習の時間の中で進めています。その中で、地域の方々の想いや自然や文
化についてより深く知り、そこに住む地域の方々の生き方について共感し、地域を愛し、誇りに思う子ども
たちを育てていきたいと思い、今年度も研究を継続しています。教職員の地域行事への参加も高まり、
地域を知ることで子どもを知ることを意識するようになり、授業にも生かせるようになってきてい
ます。このような結果から、ESDの取組をさらに充実させ、子どもたちの自発的な学びから、より地域に
根差した学習を進めていくようにしていきたいと考えています。



平成 29 年度

平成 30 年度

【資料】 保護者学校評価 結果一覧

	H29 実現度				H30 実現度				
	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来てい ない	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い	
確かな学力	わが子は、学校での学習内容がわかっている。	16.7%	66.7%	15.7%	1.0%	15.2%	65.7%	17.2%	2.0%
	わが子は、宿題や明日の準備等を自主的にしている。	34.3%	53.9%	9.8%	2.0%	35.4%	47.5%	12.1%	5.1%
	わが子は、家庭でよく読書をしている。	11.9%	37.6%	38.6%	11.9%	15.2%	21.2%	45.5%	18.2%
	家庭では、子どもの教育について、学校に協力している。	9.9%	77.2%	12.9%	0.0%	11.2%	79.6%	9.2%	0.0%
	先生は、子どもの努力を認め、伸ばしてくれている。	37.3%	60.8%	2.0%	0.0%	35.7%	58.2%	6.1%	0.0%
	先生は、子どもの学習の成果物(ノート・作品など)をよく見てくれている。	51.0%	45.1%	3.9%	0.0%	45.5%	51.5%	3.0%	0.0%
	学校は、学習環境を整備している。	28.0%	63.0%	9.0%	0.0%	25.5%	66.3%	8.2%	0.0%
	わが子は、楽しく学校に通っている。	54.9%	43.1%	1.0%	1.0%	49.5%	46.5%	3.0%	1.0%
	わが子は、学級の友達と仲良くすごしている。	43.1%	52.9%	3.9%	0.0%	34.7%	62.2%	3.1%	0.0%
	わが子は、よく学校の話をする。	29.4%	51.0%	19.6%	0.0%	27.3%	53.5%	18.2%	1.0%
豊かな心	わが子は、よく家のお手伝いをしている。	18.6%	47.1%	32.4%	2.0%	19.2%	41.4%	37.4%	2.0%
	家庭では、できるだけわが子を認め、ほめるようにしている。	11.9%	56.4%	31.7%	0.0%	10.1%	59.6%	29.3%	1.0%
	家庭では、わが子の挨拶や言葉づかいに気をつけている。	14.7%	61.8%	23.5%	0.0%	13.1%	58.6%	27.3%	1.0%
	家庭では、わが子に社会のマナーや学校のきまりを守るように声かけしている。	29.4%	66.7%	3.9%	0.0%	23.2%	71.7%	5.1%	0.0%
	学校は、一人一人を大切にした教育をすすめている。	23.2%	67.7%	9.1%	0.0%	15.6%	76.0%	8.3%	0.0%
	学校は、思いやりの心・考える力・たくましい子を育てている。	22.8%	66.3%	10.9%	0.0%	14.3%	74.5%	9.2%	2.0%
	学校は、保護者の相談をよく受けとめてくれている。	28.7%	65.3%	5.9%	0.0%	24.7%	63.9%	11.3%	0.0%
	学校は、保護者との信頼関係作りに向け、努力している。	27.7%	63.4%	8.9%	0.0%	24.7%	64.9%	9.3%	1.0%
	学校は、たてわり活動などを通して、子ども同士の人間関係を深めている。	47.5%	50.5%	2.0%	0.0%	27.6%	69.4%	3.1%	0.0%
	わが子は、外で友達と遊んだり、体を動かしたりしている。	40.2%	45.1%	12.7%	2.0%	39.8%	39.8%	15.3%	5.1%
健やかな体	学校は、不審者対応や災害発生時の対応など、適切な安全対策をとっている。	22.2%	61.6%	12.1%	4.0%	21.4%	67.3%	8.2%	3.1%
	学校は、地域・保護者とともに教育をすすめている。	15.8%	70.3%	13.9%	0.0%	22.4%	71.4%	6.1%	0.0%
	学校は、中学校と連携をとって、取組をすすめている。	14.1%	71.7%	13.1%	1.0%	17.9%	76.8%	5.3%	0.0%
	学校からの情報で、学校での子どもの様子がよくわかる。	20.0%	62.0%	17.0%	1.0%	18.4%	59.2%	21.4%	1.0%
	学校からのおたよりや学校のホームページをよく見ている。	25.5%	52.0%	21.6%	1.0%	18.4%	61.2%	15.3%	5.1%
	学校行事や参観日、地域行事には、よく参加している。	21.8%	61.4%	15.8%	1.0%	28.6%	58.2%	11.2%	2.0%

